

名家連ニュース

令和2年2月21日(金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.692号



緊急連絡!!

新型コロナウイルスの関係で主催者団体から下記イベントの中止連絡がありましたのでお知らせいたします。参加予定の皆様にも周知して頂きますようお願い申し上げます。皆様におかれましても、うがい・手洗い・マスクなどの感染予防を心がけていきましょう (名家連会長：堀田 明)

【日時】2月29日(土)13時～ 【会場】名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)

【主催】愛知障害フォーラム(ADF)

「差別や偏見をなくそうこのあいちから ～精神障害者のおかれた現状と課題について～」

【日時】3月7日(土)10時30分～ 【会場】ナディアパークアトリウム

【主催】名古屋市精神保健福祉センター

「こころの健康フェスタ なごや ～見つめよう こころの健康 広げよう こころの絆～」

◆◆ 基礎年金のマクロ経済スライド制のからくり ◆◆

消費税10%導入に伴い低年金者に対する年金受給者支援給付金が支給されました。それ自体は当事者も家族も嬉しいことでした。

しかし、喜んでばかりはいられません。年金制度にはマクロ経済スライド制という大きな落とし穴があります。家族も年金生活者が大半を占めています。

長年、年金支給額は、物価の変動を反映した「物価スライド制」でしたが、安倍政権下では「マクロ経済スライド制(物価上昇を反映しにくい制度)」が導入されました。

マクロ経済スライド制による年金支給額は、物価と名目賃金の変動率を指標に改定されます。



◆ 物価が上昇しても名目賃金がマイナスであれば、年金支給額は据え置かれます

例：2016年度は物価が0.8%増で名目賃金が0.2%減のため支給額は据え置かれました。従って、0.8%の物価上昇分が年金受給者の生活を圧迫してきました。(実質的に物価上昇分0.8%の減)

◆ 物価も名目賃金も上昇した場合、上昇率の低い方で改定されます

例：2019年度は物価が1%増で名目賃金が0.6%増だったため、名目賃金の0.6%が指標となりましたので、物価上昇分との差引き実質0.4%減となっています。



◆ 過去の物価下落時の支給額据え置き分を減額する措置が行われてきました

例：2000年～2002年に物価が下落した際の据え置き分を調整するとして2013年～2015年度に年金支給額を合計2.5%引き下げました。

◆ 今日までにマクロ経済スライド制で年金支給額は、実質6.4%削減されてきました

例：2013年～2020年度の物価上昇5.8%に対し、年金支給額の名目額では0.6%削減されてきました。現在の年金額改定ルールによって今日までに年金支給額は、実質6.4%削減されてきました。

次ページに続きます

◆ 物価上昇を反映した「物価スライド制」に転換を!! ◆

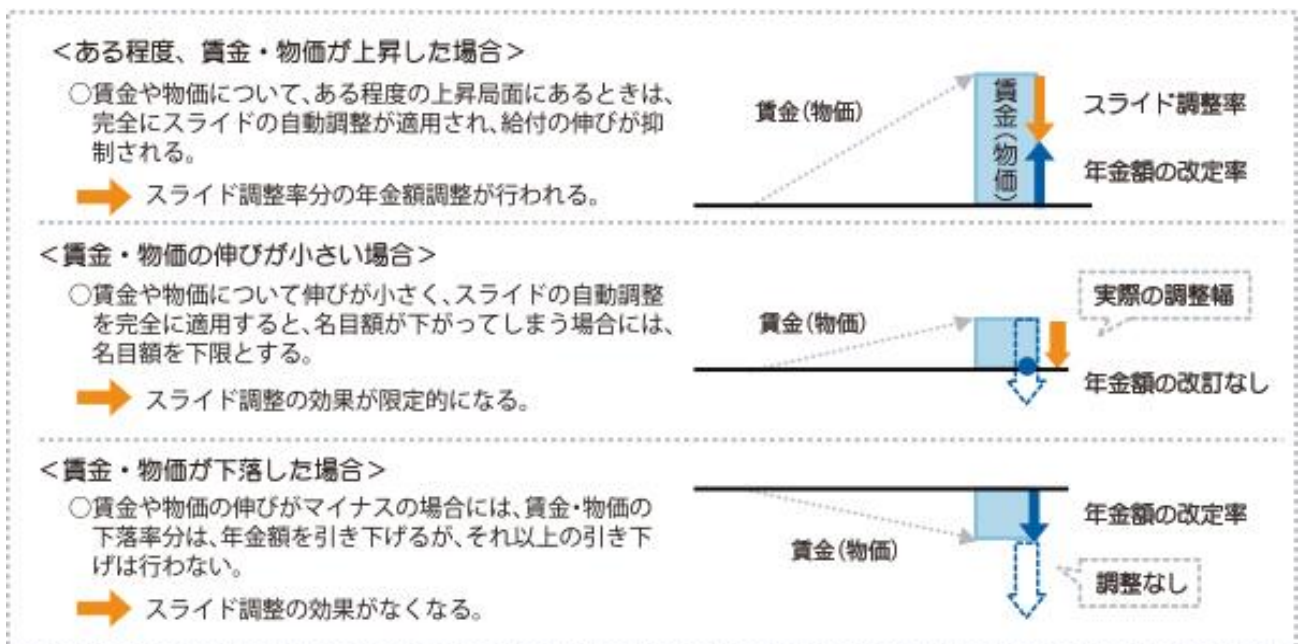
政府は、マクロ経済スライド制の実施で、今後約30年かけて基礎年金の支給水準を3割削減する計画です。昨年、老後に2,000万円が必要とした金融庁の報告書が大問題となりました。

この問題で、安倍首相が国会答弁で「マクロ経済スライド制」を連呼した結果、この制度が年金減額のために作られた制度であることが明らかになりました。

年金生活者のみならず、現役世代からも先行き不安の声が挙がり、年金制度に対する国民の信頼が大きく崩れてしまいました。多くの識者からは、低年金の人ほど大きな打撃を受ける「マクロ経済スライド制」を廃止し、物価上昇に連動した「物価スライド制」に転換する必要性が指摘されています。



【マクロ経済スライドによる調整のルールの見直し】

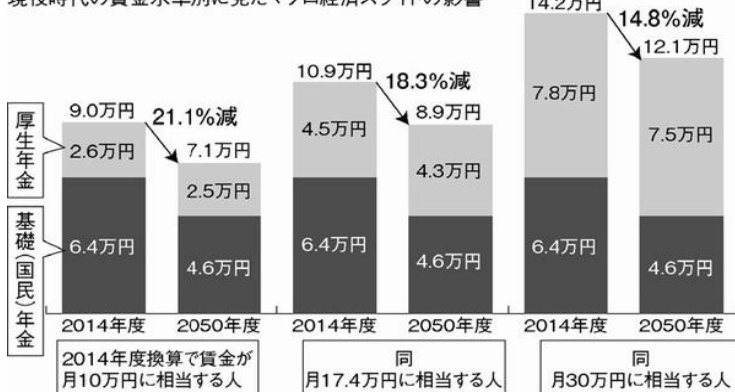


この年金額改定ルールの見直しは平成30年4月1日から施行され、平成30年度以降に発生したマクロ経済スライドの未調整分が繰り越しの対象となります。

なお、平成30年度は、年金額が据え置きだったため、マクロ経済スライドによる年金額の調整は行われず、未調整分の調整率（▲0.3%）は翌年度以降に繰り越されました。

低賃金の労働者ほど老齢年金の目減りは大きい

現役時代の賃金水準別に見たマクロ経済スライドの影響



(注)2014年財政検証の結果をもとに作成。年金額は1人あたりの月額。経済C・人口中位のケース。2050年度の年金額は名目額を2014年度の価値に換算した実質額

安倍首相はこの仕組みで「7兆円」削ると明言しました。削減幅は現在の約3割減で、基礎年金でみると、満額月6万5千円が20年後には4万6千円に2万円も減ることになります。

令和元年度は、今年度分のマクロ経済スライド（▲0.2%）に、平成30年度に繰り越された未調整分（▲0.3%）も含めて調整を行った上で、なお0.1%のプラス改定となりました。

※文責及び資料掲載/名家連事務局：堀場